

環境技術実証モデル事業（山岳トイレ技術分野）
における実証対象技術の選定について

1. 趣旨

環境技術実証モデル事業の山岳トイレ技術分野について、平成 16 年度の実証対象技術を選定した。

2. 選定技術の概要

平成 16 年 6 月 21 日（月）から 6 月 30 日（水）まで実証対象技術の募集を行ったところ、5 件の申請があった。

NPO 法人 山の ECHO 技術実証委員会（委員長：伊与 亨氏）を設置し、実証試験要領にある対象技術の観点の項目を検討し、さらに環境省と協議の上、実証対象技術 1 件を選定した。

[実証対象技術]

対象技術	企業名
化学処理方式 （常流循環式汚水処理システム）	株式会社オリエント・エコロジー （東京都千代田区麹町 1-10 麹町広洋ビル 2F）

詳細は別紙 1 のとおり

3. 環境技術実証モデル事業について

(1) 事業の概要

既に適用可能な段階にある先進的な環境保全技術でも、客観的な評価がないことにより普及の進んでいない状況がみられる。このため、環境省では、このような技術について、環境保全効果等を客観的に実証することにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と地域の環境産業の発展を促進することを目的としたモデル事業を平成 15 年度より実施している。

NPO 法人 山の ECHO は、実証機関として環境省から選定され、山岳トイレ技術分野について、技術実証を実施する。

選定・実証された技術については可能な限り情報を公開する。

(2) 今後の予定

時 期	内 容
7 月下旬	環境省の実証試験要領に基づき、実証試験計画を策定
8 月～2 月	実証試験計画に基づき、実証試験を実施
3 月	実証試験結果の報告書を作成

実証対象技術の概要 (NPO 法人 山の ECHO)

技術の概要 開発者名	技術の内容	フロー図
<p>常流循環式 汚水処理システム</p> <p>株式会社 オリエント・エコロジー</p>	<p>この技術は、トイレの汚水処理技術で、給水、排水を必要とせず、一定量の初期水を循環させることにより、水洗トイレとして利用できるものである。便器には処理水が常時流れ込み汚物を除去する。</p> <p>初期水に悪臭汚水処理剤（鉍物系ミネラル抽出液）を注入し臭気を抑制し、循環過程において各処理槽で物理処理を行い簡易浄化し、汚水を洗浄水として再利用する。一定の利用後、貯留された汚泥と循環水を合わせ汲取りをし、生し尿として処分する。</p> <p>トイレ利用人数の変動（季節、月、曜日、時間）が大きい場所でも、安定的な水洗トイレとしての利用を目的とし専門技術を要しない簡易的なメンテナンス性を特徴とする。</p>	<p>フロー図</p> <pre> graph LR Toilet[便器] -- 汚水 --> Mixing[流動攪拌室] Mixing --> Contact[流動接触室 ばっ気式水中スクリーン] Contact --> Separation[分離室] Separation --> Delivery[送水室] Delivery -- 洗浄水 --> Toilet Contact -- エアークリフト --> Storage[貯留室] </pre>